

令和5年2月10日			
資	料	提	供
担 当 課	自然環境室		
担 当 者	菅野、新免		
電 話	073-441-2779		

令和4年度（第54回）ガンカモ類生息調査結果

－カモ類は微増、オオハクチョウ・アカハジロを確認－

本調査は、日本におけるガン・カモ・ハクチョウ類の冬期の生息状況を把握し、野生生物行政に必要な資料とするため、昭和44年度から毎年この時期に全国一斉調査を行っており、今回は54回目の調査となります。以下、県内の調査結果を示します。

●調査日時等

- ・主な調査日: 令和5年1月15日（日）
- ・調査員: 69名（日本野鳥の会和歌山県支部、県鳥獣保護管理員等）
- ・調査箇所: 247か所（県内の河川、池、沼、ダム、海岸等の渡来地）

●調査結果概要

- ・カモ類の個体数は例年より若干増加しました。主要河川の個体数は例年と比べ大きく変わりませんでした。樫山ダムでは新たな生息場所が確認できたこともあり、樫山ダムの個体数が増加しました。
- ・県内での目撃が少ない種としては、オオハクチョウ1羽とアカハジロ1羽が和歌川（和歌山市）で、ミコアイサが平池（紀の川市貴志川町）で10羽、ウミアイサが紀の川河口（和歌山市）と鳥ノ巣半島（田辺市）で1羽ずつ、スズガモが日高川河口（御坊市）で1羽、アメリカヒドリが古座川河口（串本町）で1羽確認されました。
- ・環境省レッドリスト選定種では、トモエガモ（絶滅危惧Ⅱ類）が5地点で合計14羽確認されました。

表1. 確認された種数及び個体数

	令和4年度		昨年度	
	種数(種)	個体数(羽)	種数(種)	個体数(羽)
ガン類	0	0	0	0
カモ類	18	12,467	15	11,180
ハクチョウ類	1	1	0	0
計	19	12,468	15	11,180

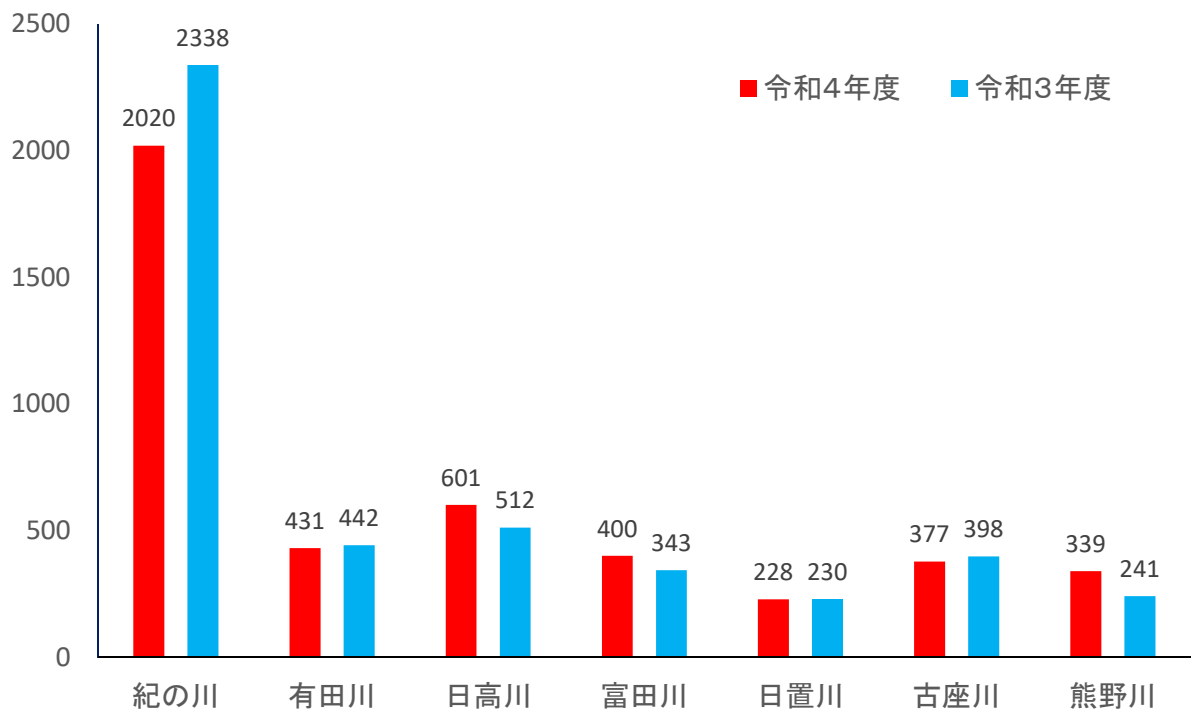


図1. 主要河川において確認された個体数

表2. 確認されたハクチョウ類・カモ類の内訳

種別	R4	R3	種別	R4	R3
オオハクチョウ	1	0	キンクロハジロ	166	200
オシドリ	1,882	392	スズガモ	1	0
マガモ	3,128	2,820	トモエガモ	14	5
カルガモ	2,168	2,159	ウミアイサ	2	0
コガモ	787	831	カワアイサ	102	69
ヨシガモ	89	111	ミコアイサ	10	9
オカヨシガモ	364	464	ツクシガモ	0	1
ヒドリガモ	2,831	3,029	アメリカヒドリ	1	0
オナガガモ	43	127	アカハジロ	1	0
ハシビロガモ	27	58	種不明	187	214
ホシハジロ	664	691			